

北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会

設立趣旨

北海道は、雄大な自然環境を活かした観光資源を有し、毎年 500 万人以上の道外観光客が訪れている。北海道観光は旅行先として全国的なニーズは高いものの、観光客入り込み数は、有珠山噴火、経済不況のおり横這い状態が続いている。一方、観光形態は団体型から個人型に移りつつあり、観光目的の交通も自家用車等の利用が増加している。

このため、国土交通省においては、平成 14 年度より北海道において米国シーニックバイウェイ制度を参考とし、沿道景観を保全する総合的な施策を展開することによって、北海道独自のドライブ観光の創出・振興、観光資源の充実、観光産業の活性化を図ることとし、その一環として、モデルルートにおける試行を通して制度導入に向けた課題、対策、評価を検討する「北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会」を設置するものである。

なお、委員長は石田東生筑波大学教授とし、以下に掲げる委員から構成するものとする。

【委員名簿】（敬称略）

委員長 石田 東生 筑波大学大学院社会工学系教授

委員（以下五十音順）

石山 醇 （社）日本旅行業協会 理事・事務局長

稲村 健蔵 （社）北海道観光連盟 副会長

臼井 純子 （株）富士通総研 P P P 推進室室長

高野 伸栄 北海道大学大学院工学研究科助教授

東村 有三 C. S. P. T 地域計画機構代表取締役

麦屋 弥生 （財）日本交通公社地域調査室室長

（国土審議会北海道開発分科会企画調査部会委員）

事務局 国土交通省北海道局、北海道開発局、北海道